第 16 講 【近代編】ヨーロッパのアジア侵略
PART2 南アジアと東南アジアの植民地化

Chapter 1　イギリスのインド侵略とインド帝国の成立

目標
イギリスがインド征服をどのように進めていったのかを確認しよう。
インド帝国成立までの経緯を理解しよう。

1　英仏のインドにおける抗争

17 世紀から 18 世紀にかけてイギリス・フランスがインドに進出して対立。

1744 年　**カーナティック戦争**（～ 61 年）

1757 年　**プラッシーの戦い**

→イギリスがフランスに勝利し，インド支配を進める

2　イギリスのインド侵略

1765 年　**ベンガル地方の**〔　　　　　　　　　　　　　　　〕（**徴税権**）を獲得

1767 年　南部で〔　　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる（～ 99 年）

※**マイソール王国**との 4 次にわたる戦争に勝利，南インドの支配を確立。

1775 年　中西部で〔　　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる（～ 1818 年）

※**マラーター同盟**との 3 次にわたる戦争に勝利，デカン高原の支配を確立。

1833 年　イギリス東インド会社が商業活動を停止し，インドの統治機関に

1845 年　北西部で〔　　　　　　　　〕がおこる（～ 49 年）

※**シク王国**との 2 次にわたる戦争に勝利，パンジャーブ地方を獲得。

→イギリスは，19 世紀半ばまでにインド全域を征服

イギリスによるインド支配

3 インド大反乱とムガル帝国の滅亡

①イギリス東インド会社のインド支配

A　直轄支配地に近代的な徴税制度の導入

あ　ベンガル管区で〔　　　　　　　　　　〕制を実施

※ザミンダール（領主層・地主層）に土地所有権を認めて徴税の義務を負わせる。

い　インド南部を中心に〔　　　　　　　　　　〕制を実施

※**ライヤット**（農民）に土地保有権を認めて直接徴税。

B　イギリスの機械製綿布の流入や近代的地租制によりインド社会が崩壊

②インド大反乱

1857年　インド人傭兵〔　　　　　　　　〕が反乱をおこす

※ムガル皇帝を盟主とする大反乱に発展（**インド大反乱**）。

1858年　ムガル皇帝を流刑に処し，〔　　　　　　　　〕が滅亡

1858年　**イギリス東インド会社**が，大反乱の責任を問われて解散

→インドを本国の政府が直接統治

1877年　**ヴィクトリア女王**を皇帝とする〔　　　　　　　　〕が成立

※直轄地と，在地の有力者に統治を任せる**藩王国**に分けて**分割統治**を実施。

まとめ

イギリスはベンガル地方を獲得したのち，マイソール王国，マラーター同盟，シク王国を征服し，インド支配を確立させた。
インド大反乱でムガル帝国が滅び，イギリス本国支配となったが，ヴィクトリア女王が皇帝を兼任するインド帝国が成立した。

Chapter 2　東南アジアの植民地化

目標
ヨーロッパのどの国が東南アジアのどの地域に進出したかを知ろう。
フランスによるインドシナ半島進出の経緯を確認しよう。

1　マレー半島とビルマ

①マレー半島…**イギリス**が進出
　1786 年　**ペナン**を獲得
　1819 年　〔　　　　　　　　　　　　　〕を獲得
　1824 年　オランダから**マラッカ**を獲得
　1826 年　**ペナン・シンガポール・マラッカ**を〔　　　　　　　　　　　　〕とする
　1895 年　マレー半島の４国を保護国化し，〔　　　　　　　　　　　　　　〕を結成させる
　20 世紀初頭　〔　　〕，〔　　　　〕の生産が盛んになる
　　　　　　　※錫鉱山では**華僑**が，ゴム農園では**印僑**が労働に従事。
②ビルマ（現ミャンマー）…**イギリス**が進出
　1752 年　〔　　　　　　　　　　　　　〕が成立し，ビルマ全土を支配
　1824 年　〔　　　　　　　　　　　　〕勃発
　　　　　３次にわたる戦争でコンバウン朝が滅亡，1886 年，**インド帝国**に併合される

2　フィリピン

1571 年　スペインがルソン島の**マニラ**を領有，フィリピン経営の拠点とする
　　　　※マニラとメキシコのアカプルコを結ぶ**アカプルコ貿易**で繁栄。
　　　　※政教一致政策によって，住民の**カトリック化**を進める。
1834 年　マニラを自由港とし，欧米諸国の船に開放

3　インドネシア

17 世紀　オランダが**バタヴィア**（現ジャカルタ）を拠点としてジャワ島に進出
1755 年　イスラーム教国の**マタラム王国**を滅ぼし，ジャワ島の大半を支配下に置く
1825 年　オランダの支配に対して〔　　　　　　　　　　　　〕がおこるが，鎮圧される
　　　　→本国の財政再建のため，住民にコーヒー，サトウキビ，藍，タバコなどを低賃

金で栽培させる〔　　　　　　　　　〕を導入，莫大な利益を上げる
1912年　アチェ王国を征服。植民地〔　　　　　　　　　　　　〕が成立

4　インドシナ半島（ベトナム・カンボジア・ラオス）

1802年　〔　　　　　　〕が西山政権を倒してベトナムを統一。〔　　　　〕を建国
※ユエ（フエ）を都と定め，清に朝貢して国号を**越南**（ベトナム）とする。
1858年　フランスのナポレオン3世による**インドシナ出兵**
1863年　フランスが**カンボジア**を保護国とする
1867年　フランスがベトナム南部を奪う
→**劉永福**（ベトナムに亡命した清の軍人）が〔　　　　　　〕を率いて抵抗
1883年　**ユエ**（フエ）**条約**によって，フランスがベトナムを保護国とする
1884年　**清**がベトナムに派兵。ベトナムの宗主権を巡り，〔　　　　　　　〕が勃発
1885年　清がフランスと〔　　　　　　　〕を締結，フランスのベトナム支配を承認
※清はベトナムの宗主権を放棄，中華思想の崩壊が進む。
1887年　フランスがベトナムとカンボジアを合わせ，植民地化
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立。
※1899年に**ラオス**を編入。

5　タイ

1782年　バンコクを都として〔　　　　　　　　　　　　〕が成立
※現在のタイの領域全域に支配を広げる
1855年　**ラーマ4世**が西欧諸侯に対して開放政策に転じ，イギリスと不平等な条約を結ぶ
19世紀後半　〔　　　　　　　　　〕が，行政・司法・軍事の近代化を推進
→不平等条約の一部改正。イギリス・フランスの緩衝地帯として**独立を維持**

まとめ

イギリスはマレー半島やビルマに，スペインはフィリピンに，オランダはインドネシアに，フランスはインドシナ半島に進出した。
フランスがベトナムの保護国化を進めると清仏戦争が勃発し，勝利したフランスは仏領インドシナ連邦を形成した。

第 16 講　PART 2　確認問題

1　1744 年にインドでおこった，イギリスとフランスの戦いはどれか。

①　プラッシーの戦い　②　カーナティック戦争
③　マイソール戦争　④　マラーター戦争

2　イギリスがシク王国との戦いに勝利して獲得したのは，インドのどこか。

①　ベンガル地方　②　デカン高原
③　南インド　④　パンジャーブ地方

3　イギリス東インド会社がインド支配のために，ベンガル管区で実施した徴税制度はどれか。

①　ザミンダーリー制　②　アシエンダ制
③　エンコミエンダ制　④　ライヤットワーリー制

4　1857 年に反乱をおこしたインド人傭兵はどれか。

①　ユンカー　②　イェニチェリ
③　ライヤット　④　シパーヒー

5　1886 年に，イギリスにビルマ戦争で滅ぼされた王朝はどれか。

①　ラタナコーシン朝　②　アユタヤ朝
③　コンバウン朝　④　タウングー朝

6 1755年にマタラム王国を滅ぼして，ジャワ島を支配下に置いたヨーロッパの国はどこか。

① スペイン　② イギリス
③ オランダ　④ フランス

7 清がフランスのベトナム支配を承認した，1885年の条約を何というか。

① ユエ条約　② 天津条約
③ イリ条約　④ 北京条約

8 イギリスとフランスの緩衝地帯として，東南アジアで唯一植民地化を回避した国はどこか。

① タイ　② ビルマ
③ フィリピン　④ カンボジア

第 16 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：②　イギリス東インド会社は，3 次にわたる**カーナティック戦争**（1744 年～61 年）でフランスを破り，南インドでの優位を確立した。

2 解答：④　イギリスは，2 次にわたるシク戦争でシク王国を破り，**パンジャーブ地方**を獲得した。

3 解答：①　イギリスはインド支配のため，ベンガル管区で**ザミンダーリー制**を実施した。

4 解答：④　1857 年, 北インドで**シパーヒー**が蜂起し, 首都デリーを占領した。シパーヒーには，上層カーストのヒンドゥー教徒と上層のイスラーム教徒が多かった。

5 解答：③　**コンバウン朝**は，イギリスとの 3 次にわたるビルマ戦争に敗北して，インド帝国に併合された。

6 解答：③　**オランダ**はジャワ島中・東部を支配したマタラム王国を滅ぼし，ジャワ島の大半を支配下に置いた。

7 解答：②　清は清仏戦争の講和条約である**天津条約**で，フランスのベトナム支配を承認した。

8 解答：①　**タイ**は東南アジアで唯一独立を維持した。